富良野市の健全化判断比率(平成30年度)

1. 健全化判断比率の状況

	富良野市	早期健全化基準(市町村)	財政再生基準(市町村)
実質赤字比率 ・ 一般会計等の実質赤字の比率	– (赤字なし)	財政規模に応じ 11.25〜15% _(富良野市:13.80%)	20%
連結実質赤字比率 ・ 全ての会計の実質赤字の比率	- (赤字なし)	財政規模に応じ 16.25〜20% <u>(富良野市:18.80%)</u>	30%
実質公債費比率 ・ 公債費及び公債費に準じた経費の比重 を示す比率	7.4%	25%	35%
将来負担比率 ・ 地方債残高の他一般会計等が将来負担 すべき実質的な負債を捉えた比率	32.9%	350%	_
公営企業における資金不足比率 ・ 公営企業ごとの資金不足の比率 (水道、ワイン、簡水、下水)	- (各々の会計において資金不足なし)	20%	_

2. 健全化判断比率における各指標について

(1) 実質赤字比率(総括表②)

(2) 連結実質赤字比率、資金不足比率(総括表②、2①表)

(千円)

一般会計・特別会計の実質収支、企業会計の資金不足(剰余)額の合計(△1,903,817) **全会計において黒字** 【水道、ワイン、簡水、市場、下水 各会計において資金不足なし】
連結実質赤字比率 = ______ = △ **24.40%**

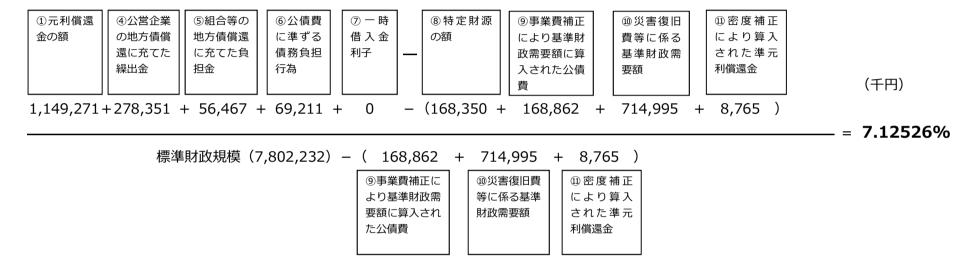
標準財政規模(7,802,232)

(△負の値は黒字を示す)

(3) 実質公債費比率(総括表③)

3 カ年平均値: 7.4% (平成 28 年度: 7.88359%、平成 29 年度: 7.37085%、平成 30 年度: 7.12526%)

参考(下記数式は平成30年度)



(4) 将来負担比率(総括表④)



標準財政規模(7,802,232) - 算入公債費等の額(892,622)